

事 業 評 價 書

補 助 事 業 名	消防に関する施設:消防ポンプ自動車購入				
補 助 事 業 者 名	狭山市長				
実 施 場 所	狭山市柏原2358				
補助事業の成果の目標	<p>平成14年9月に更新した狭山市消防団第6分団第2部の消防ポンプ自動車が狭山市消防団消防自動車等の更新計画に基づく車両更新期間(18年)を満了していること、また、更新後21年経過し、車体の老朽化も進み、消防専用シャシ及び取り付け装置の不具合や故障の発生、それに伴う部品の調達にも苦慮するところです。そのようなことから車両の更新を行い、地域の防災力を低下させることなく維持することを目標に、地域住民の安全・安心な生活環境を整備する。</p> <p>【参考指標】</p> <p>第6分団第2部団員数(令和5年4月1日現在) 10名</p> <p>令和4年度における水火災・台風警戒等への第6分団第2部の出動件数 7件</p> <p>令和4年度における第6分団第2部の出動延べ人員数 275名</p>				
補 助 事 業 の 内 容	消防ポンプ自動車(CD-I型)購入				
補助事業の始期及び終期	令和5年9月29日から令和6年2月29日まで				
事業費及び交付金額		令和4年度以前	令和5年度	令和6年度以降予定	計
事業費	円	円	円	円	円
	—	23,760,000	—	23,760,000	
交付金額	円	円	円	円	円
	—	19,300,000	—	19,300,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>消防ポンプ自動車を購入(更新)したこと、新たに後方確認装置を取り付けたことで、団員が運転中に抱える不安が解消されるとともに、より性能が優れた消防ポンプを搭載したこと、消防水利から遠く離れた火点までスムーズに放水が行えるようになり、現場到着から放水までの初期消火活動までにかかる時間の短縮など、操作性がより向上した。</p> <p>このことにより、地域の防災力・消防力の充実強化が図られ、災害を最小限に抑えることが可能な、安全安心な生活環境を整備することができた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>消防ポンプ自動車左右側面に、防衛省の交付金を活用して整備した旨を明記。 基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に掲載。 狭山市公式ホームページ及び狭山市消防団ホームページに掲載中。 令和6年度中に発行する狭山市消防団広報誌を作成し、市内全地区回覧を実施予定。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	狭山市総合計画実施計画に基づき、非常備消防機械施設等整備事業として消防自動車の更新事業を実施していく。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:幹第18号線				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市 大字堀兼 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に舗装補修工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は、主要地方道所沢狭山線から県道所沢堀兼狭山線を結び、隣接する入間市や川越市へ繋がる幹線市道として重要な路線である。</p> <p>また、交差する草刈街道が川越狭山工業団地の物流ルートとして利用されることにより大型車交通量の増加したことに伴い、当路線の交通量も増加したことから、舗装劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、防衛省所管特定防衛施設周辺設備調整交付金を活用し舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 堀兼地区人口/世帯数(14,573人/6,976世帯) ※令和5年4月1日現在</p>				
補助事業の内容	<p>工事延長:L=358.6m 道路幅員:W=5.97~8.85m 舗装補修</p>				
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和5年度				
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
	事業費	円 31,683,300	円 21,511,600	円 36,534,300	円 89,729,200
	交付金額	円 27,000,000	円 21,000,000	円 20,500,000	円 68,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 令和3年度より事業が開始し、地域住民等に対するアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善され、満足しているとの声が寄せられたこと、また継続的な整備要望もあり、補助事業への好印象と期待が得られたことから、成果目標が達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ、工事看板、並びに基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
	<p>令和3年度より3年間の事業計画で今年度施工にて事業は完了した、本路線事業で得られた交通の安全性向上と沿線居住者への振動騒音の改善が図られたことから、本市の市道舗装修繕計画(長寿命化)に基づき、計画的に維持管理に取組む。</p> <p>また、事業全般では、アンケートの意見・要望では、部分的な補修ではなく、路線として修繕を行ったことに対する評価が得られており、継続的な整備要望もでていることから、現在の事業方針が良好な評価をされていると判断でき、今後も地域住民の意見・要望を把握しながら周辺への影響を考慮した上で来年度以降も他の路線事業を推進し、地域住民の生活環境の向上を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事 業 評 價 書

補 助 事 業 名	交通施設:幹第48号線				
補 助 事 業 者 名	狭山市長				
実 施 場 所	狭山市 大字上赤坂 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に舗装補修工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は、主要地方道所沢狭山線から県道所沢堀兼狭山線を結び、隣接する入間市や川越市へ繋がる幹線市道として重要な路線である。</p> <p>また、交差する草刈街道が川越狭山工業団地の物流ルートとして利用されることにより大型車交通量の増加したことに伴い、当路線の交通量も増加したことから、舗装劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、防衛省所管特定防衛施設周辺設備調整交付金を活用し舗装を打換えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 堀兼地区人口/世帯数(14,573人/6,976世帯) ※令和5年4月1日現在</p>				
補 助 事 業 の 内 容	<p>工事延長:L=355m 道路幅員:W=4.92~5.13m 舗装補修</p>				
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和5年度				
事業費 及び 交付 金額		令和4年度	令和5年度	計	
	事業費	円 -	円 28,299,700	円 30,180,700	円 58,480,400
	交付金額	円 -	円 23,000,000	円 29,500,000	円 52,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 昨年度より事業が開始し、地域住民等に対するアンケートの結果、騒音及び振動等が改善され、満足しているとの声が寄せられたこと、また継続的な整備要望もあり、補助事業への好印象と期待が得られたことから、成果目標が達成できたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 工事のお知らせ文書及び工事看板による周知に加え、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>令和4年度より2年間の事業計画で今年度施工にて事業は完了した、本路線事業で得られた交通の安全性向上と沿線居住者への振動騒音の改善が図られたことから、本市の市道舗装修繕計画(長寿命化)に基づき、計画的に維持管理に取組む。</p> <p>また、事業全般では、アンケートの意見・要望では、部分的な補修ではなく、路線として修繕を行ったことに対する評価が得られており、継続的な整備要望もでていることから、現在の事業方針が良好な評価をされていると判断でき、今後も地域住民の意見・要望を把握しながら周辺への影響を考慮した上で来年度以降も他の路線事業を推進し、地域住民の生活環境の向上を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小学生学習支援事業				
補助事業者名	狹山市長				
実施場所	狹山市内小学校(15箇所)				
補助事業の成果の目標	<p>本市における学力向上に関する課題の一つに算数の基礎的・基本的な知識及び技能の定着がある。 そこで外部の専門講師の指導を通して、児童の学校外の学習時間の確保や学習指導の補完、家庭学習の習慣化を図る。 また、分からぬところや学習のつまづきを解決し、算数への自信をつけさせることで、児童の学習への興味・関心をさらに高め、基礎的・基本的な知識及び技能の定着や学習意欲の向上など、参加する児童一人一人の確かな学力の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内小学校第4学年の児童数(1,010人:令和5年5月1日現在)</p>				
補助事業の内容	学校の授業以外で児童が学習する機会を設け、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からぬところや学習の躊躇を無くすため指導・支援をしていく。				
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和5年度				
事業費及び交付金額 ()は総事業費		令和3年度以前	令和4年度	令和5年度	計
	事業費	円 18,918,108 (21,777,888)	円 3,361,600 (4,968,612)	円 3,223,000 (4,829,000)	円 25,502,708 (31,575,500)
	交付金額	円 18,300,000	円 2,200,000	円 2,000,000	円 22,500,000
補助事業の成果及び評価 並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 算数の授業内容が分かるかについては、事前事後アンケートの結果において「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した児童が66%から85%に向上、算数科の勉強に自信があるかについては、事前事後アンケートの結果において「自信がある」「だいたい自信がある」と回答した児童が57%から75%に向上した。 事前事後アンケートの結果の変容から、参加した児童は本事業で分かる喜びを味わい、算数に対する意欲や自信が向上したことが伺える。</p> <p>事前事後テストの変容をみると、事前テストの平均点が77.0点、事後テストの平均点が89.5点となり、12.5点向上した。 保護者のアンケートからは、「お子さまは算数の勉強に自信がありますか」において「とても自信がある」と答えた保護者が事前は14%だったのに対し、事後は35%に増えており、それに対し、「自信がない」「あまり自信がない」と答えた保護者は81%から20%へと激減した。このことから、学習支援事業で満足感を得られた児童の姿が、帰宅後に保護者にも伝わったことが考えられ、保護者の本事業に対する肯定的な評価につながったと考えられる。</p> <p>少人数で指導・支援を行う小学生学習支援事業により、児童の学習意欲がこれまで以上に高まり、分からぬところや学習のつまづきを無くすことができたと考えられる。また、算数への自信がつき、一人一人の学力の定着と学習の習慣化が図られたと判断する。児童の学習の状況によっては、発展的な課題も提供することで、どの児童も達成感を得られるように工夫したこと、児童、保護者の満足度につながったと考えられる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 児童及び保護者向けの募集案内、狹山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狹山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:中学生学習支援事業								
補助事業者名	狭山市長								
実施場所	狭山市内中学校(8箇所)								
補助事業の成果の目標	<p>本市の中学生の学力は、平成25年度までは全国及び埼玉県の平均と同程度であったが、平成26年度及び平成27年度については下回ってきていたという状況にあり、また、家庭学習の時間も全国及び埼玉県に比べ短いという結果が出ている。これらを踏まえ、中学生の確かな学力の定着及び向上が課題となっている。</p> <p>そこで、学校の学習指導を補完とともに、家庭学習の励行を促すため、各中学校区毎に生徒が学校の授業以外で学習できる環境を整え、多くの生徒の参加を促す。</p> <p>これにより、生徒の学習への興味・関心をさらに高め、分からぬところや学習の躊躇を無くしていくとともに、多くの生徒が家庭学習の習慣を身につけることで、参加する生徒一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内中学校の生徒数:3,149人(令和6年5月1日現在)</p>								
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業以外で生徒が学習する機会を設け、学習活動を支援する。 外国語語学指導助手の任用及び配置 								
補助事業の始期及び終期	<p>基金の造成:平成27年度から平成29年度 基金の処分:平成28年度から令和5年度</p>								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
	27	円 16,106,000	円	円	円 16,106,000	円 0	円 16,106,000	円 0	
	28	14,000,000			14,000,000	7,470,000	22,636,000	7,476,300	
	29	14,000,000			14,000,000	6,500,000	30,136,000	6,775,054	
	30	0			0	6,400,000	23,736,000	6,505,763	
	1	0			0	7,000,000	16,736,000	7,233,818	
2	0			0	1,400,000	15,336,000	1,423,400		
3	0			0	5,000,000	10,336,000	6,160,660		
4	0			0	5,500,000	4,836,000	6,726,835		
5	0			0	4,836,000	0	13,491,077		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>夏季冬季集中講義については、延べ参加者数が2,907名(夏季2,225名、冬季682名)であり、令和4年度の延べ参加者数2,594名に対し、313名増加した。講義後のアンケートでは「授業は分かりやすかったですか」との質問に対し、75パーセント以上の生徒が分かりやすかったと回答しており、「基礎から学べたのでわかりやすかった」「学校で学んだことをしっかりと復習することができた」「家庭学習の習慣が身についた」等の意見が寄せられたことから、『中学校の学習指導を補完し、参加する生徒一人一人の確かな学力の定着を図る』という、本事業の目的に対する成果であると判断する。</p> <p>また、令和5年度から新たに1名の外国語語学指導助手を任用し、市内小中学校に13名の外国語語学指導助手を配置することができ、中学校においては、中学校専属の語学指導助手を増員することができた。これにより、外国語語学指導助手による授業時間を増やすことができ、外国語教育の充実を図ることができた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 生徒及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページに特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

付紙様式第2